

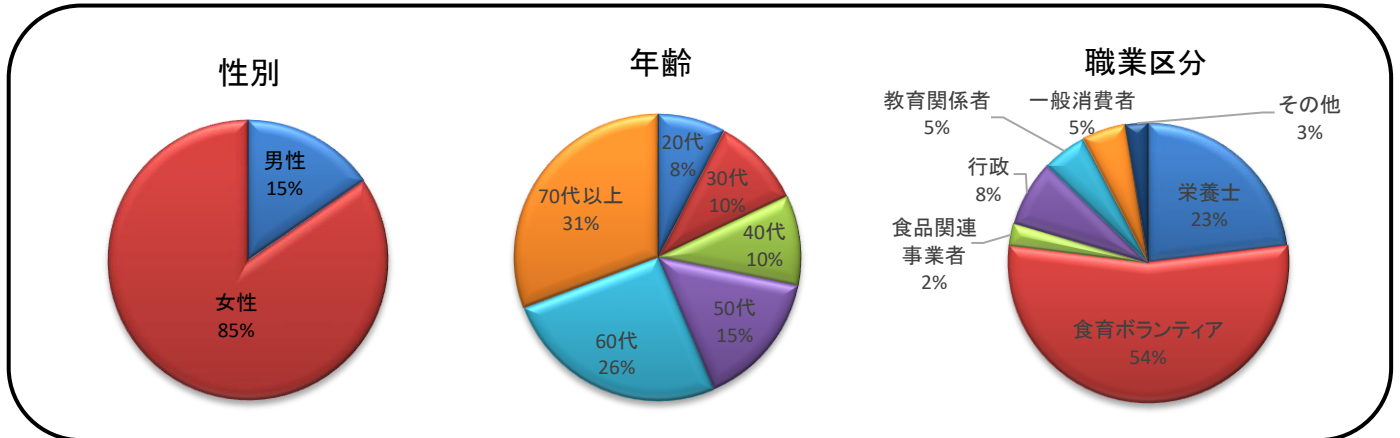
「中国四国地域食育交流会in香川」 アンケート結果

日 時：平成30年11月15日（木）

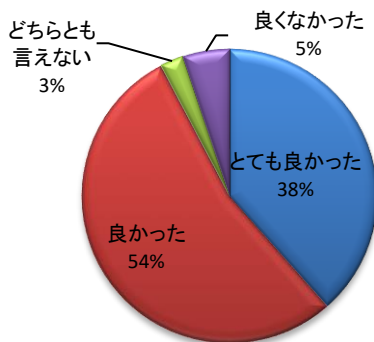
場 所：レクザムホール 多目的大会議室B面（高松市）

回答数：39名（回収率 78.0%）

○ 属性区分



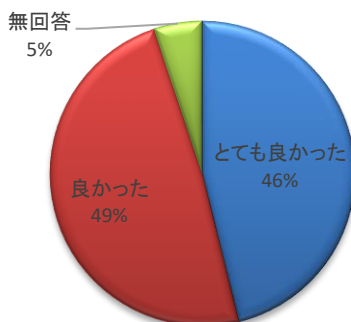
問1 講演について



〈ご意見・ご感想〉

- ・特別なことでなく、日常からのヒントをたくさんいただきました。
- ・子どもたちの料理教室で、食について全般的なことを子どもに考えさせる体験は子どもの財産になる。
- ・「まごわやさしい」では「ヨ」をつけると日本食の弱点のヨーグルトや乳製品がとれて良いと思うので、「ヨ」をつけて実践するように呼びかけている。
- ・「楽しい食事のためには空気づくりも“しつらえ”の一環」には反省したりうなったりした。

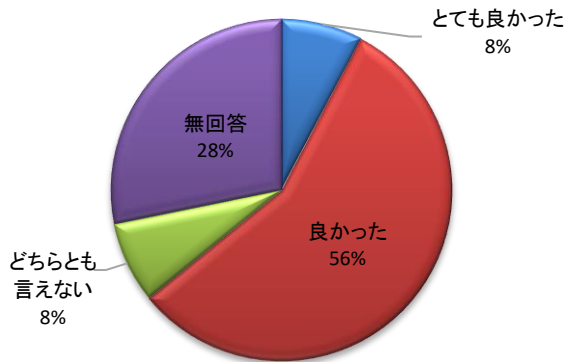
問2 事例発表について



〈ご意見・ご感想〉

- ・具体的に取り組内容を聞いたので今後の参考にしたいと思う。
- ・家庭では食が一番おろそかになってしまう現状だが、皆さんのがんばる姿から元気がもらえてよかった。
- ・これからも多くの年代を巻きこんでほしい。
- ・行政をリードするぐらいのバイタリティーに脱帽。
- ・地域愛を持って地域の方と交わり、広く活動してすばらしい。

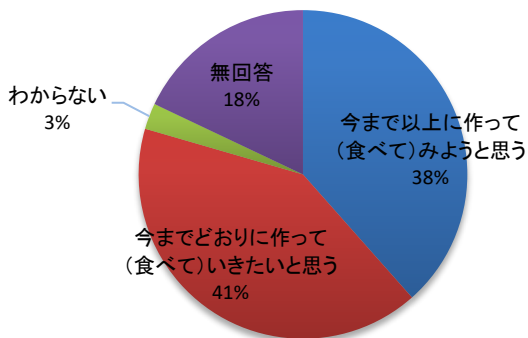
問3 意見交換について



〈ご意見・ご感想〉

- ・ 様々な立場からの声が聞けてよかった。
- ・ 野菜をたっぷり使った調理方法を広める活動が多かったので、大学やJAの取組も聞けて良かった。
- ・ 大学生から農業体験をしたことやお米への想いを聞くことができ、農業体験を開催する意味を改めて感じた。

問4 交流会に参加して和食や伝統料理を作って(食べて)みようと思いましたが



問5 食育推進に向けて、どのような取組が必要ですか(関心があるテーマ)

- ・ 一人暮らしの学生や社会人など、料理に不慣れな人たちを対象にした取組。忙しすぎて、食がおろそかになっている人たちへの提案や知恵の伝授。
- ・ 和食の愉しみを子どもたちが身につける指導につながるようなことを学びたい。
- ・ 今、健康ブームですが、運動に力を入れる人が多く、食事については関心度が低いように思える。
- ・ スポーツ栄養に関心がある子ども～大学生が多いので、スポーツ栄養×和食というコンセプトもおもしろいと思う。